

## 僕の気持ちは複雑だった

おばは 近所のうどん屋へ 出かけて行き、  
出前を 頼んでくれた。

それをフーフー言いながら、中華そばで、  
僕は おいしそうに一人、食べる。

その様子を見て、一緒に、コタツに入っている  
けいちゃんと修ちゃん達が ニコニコしている。

学校の入試の話をした。

けいちゃんは、一年おそ生まれだが、  
僕と同年で、今度 高校だ。

バレーボールのクラブに入ると言う条件で  
推薦を受けて、学費免除の待遇で、  
女子高校に行くと言う。

「ええなあ。よかったなあ。」と僕は言った。

上の修ちゃんは 兄貴と同じ年。

大学受けないことにして 働くと言う。

うちの兄貴が 京都大学めざしているのは 知っている。

「兄貴は、大変やな、がんばってるかあ。」

と、修ちゃんが 僕に尋ねた。